

楽譜作成ソフト

はじめる!

MUSIC SCORE

はじめる! ミュージックスコア
Creation and Editing of Score Software

|| Vista対応版

取扱説明書

- 音符を貼るだけ! 簡単操作
- コードネームを自動で入力
- 自動伴奏機能付き!
- 多声の楽譜も入力可能! 最大8声部までOK
- 作った楽譜をきれいに印刷
- 単一メロディ譜から大編成まで作成可能

簡単で高性能!



目次

本マニュアルについて.....	4
「はじめる！ Music Score」を使うには.....	5
1. 「はじめる！ Music Score」のセットアップ.....	5
2. 「はじめる！ Music Score」のアンインストール.....	9
「はじめる！ Music Score」の起動と終了.....	10
MIDI機器のセットアップ.....	11
MIDI環境設定.....	12
基本用語の説明.....	13
基本構成.....	15
譜表と小節の位置調節・選択方法.....	16
簡単な楽譜を作る.....	17
1. 新しいファイルを作る.....	17
2. 調号設定.....	17
3. 拍子設定.....	18
4. 音符入力と編集.....	18
5. 終止線の設定.....	19
6. 自動コードネームの入力.....	20
7. コードネームの入力.....	20
8. リズムを付ける.....	21
9. 演奏してみる.....	22
10. 印刷をする.....	22
11. データの保存.....	22
もう一步進んで.....	23
1. 楽譜の準備.....	23
2. 音符.....	24
3. 音符の連結.....	24
4. 強弱記号入力.....	24
5. タイトルの挿入.....	25
6. 楽器・チャンネルの設定.....	25

マウス以外の入力方法	26
1. コンピュータキーによる入力.....	26
2. MIDI キーボードによるステップ入力.....	27
メニューバー	28
1. ファイルメニュー.....	28
2. 編集メニュー.....	33
3. 表示メニュー.....	34
4. 設定メニュー.....	34
5. ウインドウメニュー.....	35
6. ヘルプメニュー.....	35
標準ツールバー	36
1. ファイル・編集ボタン.....	36
2. ポインタボタン.....	37
3. 演奏ボタン.....	37
4. 自動コード・補助ウインドウボタン.....	38
5. ズームポップアップメニュー.....	40
入力パレット	41
1. 音符パレット.....	41
2. 設定・歌詞パレット.....	45
3. 拍子・調号パレット.....	55
書式バー	56
ステータスバー	57
コントロールパネル	58
右ボタンメニュー	61
1. 範囲を選択しない状態での右ボタンメニュー.....	61
2. 範囲を選択した状態での右ボタンメニュー.....	62
付記	65
第 6 部 製品のサポートについて	69

はじめに

この度は Microsoft® Windows® 2000/XP/Vista(以下、Windows と表記します) 対応ソフト『はじめる! MusicScore Vista 対応版』(以下、はじめる! MusicScore と表記します)をお買い求めくださりましてありがとうございます。

● このソフトウェアを使用する前に

ソフトウェア使用中に、特定のパターンやチカチカする光を受けたために、一時的な筋肉のけいれん、意識の喪失などの症状があらわれた場合は、すぐにソフトウェアの使用をやめ、次にソフトウェアを使用する前に医師にご相談ください。

● 使用上の注意

- ・モニタやテレビ画面に近づきすぎないようにしましょう。
- ・疲れているときや睡眠不足の時はソフトウェアを使用しないようにしましょう
- ・なるべく明るい部屋でソフトウェアを使用するようにしましょう。
- ・1時間に10～15分は休憩をとりながらソフトウェアを使用しましょう。

● 対応機種／動作環境

本製品を動かすには、次の動作環境が必要です。お使いのパソコンが任意の条件を満たしているか確認してください。

- ・対応OS: 日本語 Windows® 2000/XP/Vista(32bit 版)が正常に稼働するマシン
- ・モニタ: 800×600 以上 16bit(High Color) 以上表示可能なこと
- ・その他: CD-ROM ドライブ、Sound Blaster あるいは MIDI 音源(MIDI 録音/再生時)、プリンタ(印刷時)、マウスが必要です。

メディア

CD-ROM 1枚(セットアップ時のみ使用)

本マニュアルについて

本マニュアルでは『はじめる！ MusicScore』をあなたのパソコンへセットアップしたりアンセットアップしたりする方法、セットアップしてからの『はじめる！ MusicScore』の使用方法について説明します。

パソコンや Windows の操作方法については説明していません。

ご注意

このソフトウェア、およびマニュアルの一部、または全部を無断で転載、複製することはできません。

このソフトウェア、およびマニュアルについて運用した結果の影響については一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

このソフトウェアの仕様や画面、およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。

「はじめる！ MUSIC SCORE」を使うには

『はじめる！ MusicScore』のソフトウェアを CD-ROM から直接起動することはできません。まず、『はじめる！ MusicScore』をご使用のパソコンへセットアップ(インストール)する必要があります。

セットアップ完了後は CD-ROM を使用しませんが、再度セットアップを行なう際に必要となりますので大切に保管してください。

1. 「はじめる！ MUSIC SCORE」のセットアップ

1. セットアッププログラムの起動

Windows を起動後、ドライブに CD-ROM を入れます。すると、オートプレイ機能によりセットアッププログラムが自動的に起動します。もし、自動起動しない場合、次の手順で起動させて下さい。

(自動起動した場合は、**2. セットアップ開始**へお進みください。)

- ① Windows 画面左下の「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」を開きます。(Windows Vista の場合は「コンピュータ」になります。また Windows2000 の場合はデスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックで開いてください。)
- ② その中の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
- ③ その中の「Setup.exe」(パソコンの設定によっては「.exe」の表示がない場合があります。) をダブルクリックして下さい。
- ④ これでセットアッププログラムが起動します。

Windows Vista の場合は、セットアッププログラムの起動時に警告が表示される場合があります。その場合は、「許可します」または「続行」をクリックして下さい。

2. セットアップ開始

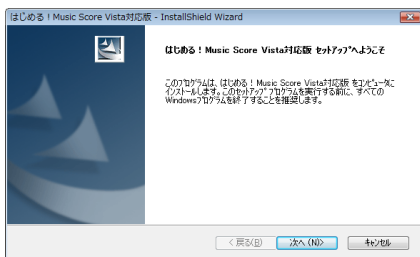
これから『はじめる！ Music Score』のインストールを始めます。

インストール実行中、中断したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

「セットアップの中止」という確認メッセージが表示され、「はい」をクリックするとセットアップが中断されます。「いいえ」をクリックすると、元のダイアログへ戻ります。

インストールプログラムが起動すると、『はじめる！ Music

Score Vista 対応版』のセットアップ画面が表示されるので、「ようこそ」ダイアログの「次へ(N)>」をクリックしてセットアップを続けていきます。

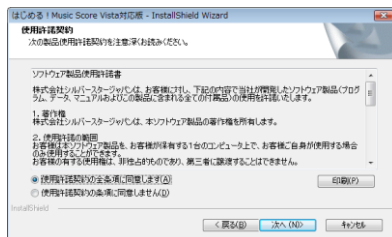


3. 製品ライセンス契約

「製品ライセンス契約」ダイアログが表示されます。表示される使用許諾書をよくお読みください。

使用許諾書に同意しセットアップを続ける場合は、「はい(Y)」をクリックしてください。

同意いただけない場合は、「いいえ(N)」をクリックし、「セットアップの中止」という確認メッセージボックスが表示されます。「中止」をクリックすると、セットアップを中断します。

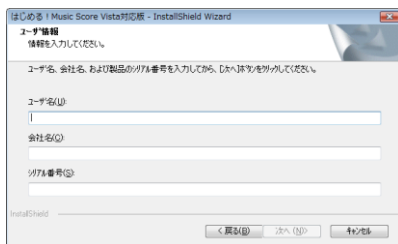


4. シリアルナンバーの登録

「ユーザー情報」ダイアログが表示されます。

「ユーザー名(U)」と、会社でご利用ならば「会社名(C)」に名前を入力し、同封のハガキに印刷されているシリアルナンバーを「シリアル番号(S)」に入力してください。

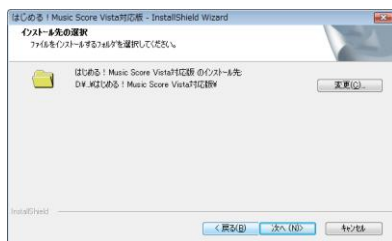
入力後、「次へ(N)」をクリックします。



4. インストール先の選択

「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。

Windows VistaとWindows XP,2000では表示されるインストール先が異なります。



● Windows Vistaにインストールする場合

「C:\¥シルバースタージャパン¥はじめる！ Music Score Vista 対応版」

● Windows XPにインストールする場合

「C:\¥Program Files¥シルバースタージャパン¥はじめる！ Music Score Vista 対応版」

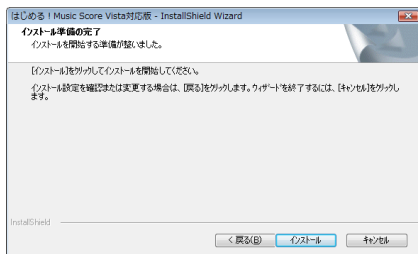
インストール先のフォルダ名を選択したら、[次へ(N) >]をクリックします。

他のフォルダ名を指定したい時は、「変更(C)...」ボタンをクリックし希望のフォルダを選択して「OK」をクリックします。

⚠ Vistaの場合、Program Filesにはインストールしないでください。

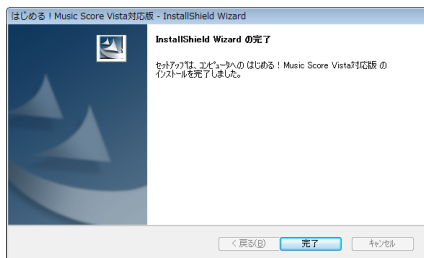
5. インストールの実行

ここから『はじめる！ Music Score』のインストールは自動的に行なわれます。ファイルのコピーや各種設定が行われます。



6 インストールの終了

インストールが完了し、「完了」ボタンをクリックすると「Setup」を完了し、コンピュータを再起動します。

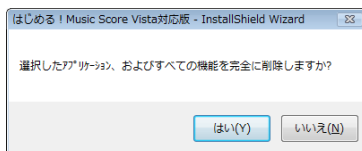


2. 「はじめる！ MUSIC SCORE」のアンインストール

「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」(Windows2000 の場合、「アプリケーションの追加と削除」、Vista の場合「プログラムのアンインストール」)を起動します。「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。



表示されたリストボックスの中で『はじめる！ Music Score Vista 対応版』の項目を選択してから「変更と削除」ボタンをクリックします。「削除」を選択し、「次へ」をクリックします。『はじめる！ Music Score』アンインストーラが起動して次のような確認メッセージボックスが表示されます。

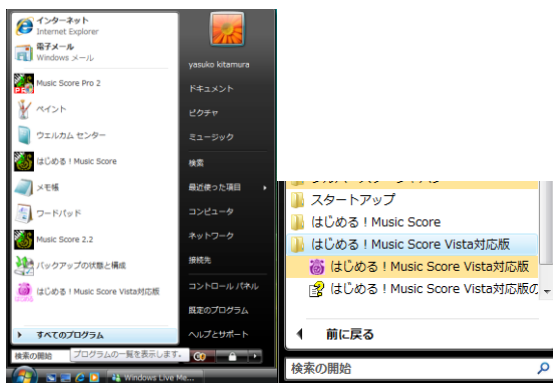


『はじめる！ Music Score』をアンインストールしたくないときには[いいえ(N)]をクリックします。[はい(Y)]をクリックすると、アンインストールが行われます。アンインストールが終わると、「はじめる！ Music Score はアンインストールされました」というメッセージボックスが表示されます。[OK]ボタンをクリックすると、『はじめる！ Music Score』のアンインストールは終了します。

「はじめる！ MUSIC SCORE」の起動と終了

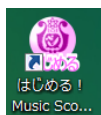
1. スタートメニューから起動する

- ① Windows2000/XP/Vista のタスクバー上にある **スタート** ボタンをクリックします。(スタートボタンの表記が違う場合があります)
- ② 開いたメニューから、「すべてのプログラム」(または「プログラム」)→「はじめる！ Music Score Vista 対応版」→「はじめる！ Music Score Vista 対応版」を選択してください。



2. デスクトップ上のアイコンから起動する方法

インストール終了時に、デスクトップ上に本ソフトを起動するためのアイコンが作成されます。これをマウスでダブルクリックすることで「はじめる！ Music Score」が起動します。



3. 終了する

メニューバーにある「ファイル」→「終了」を選択します。又は、「はじめる！ MusicScore」右上にある×ボタンを左クリックしてください。

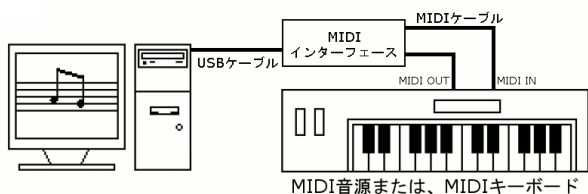
MIDI 機器のセットアップ

「はじめる！ MusicScore」は MIDI 音源を利用して、入力した譜面をパソコンで演奏することができます。MIDI 音源には、Windows に内蔵されているものの他に、外部接続タイプのものもあります。

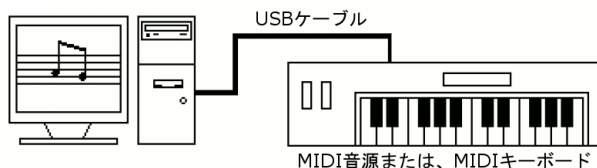
以下に示すのは、外部接続タイプの MIDI 音源とパソコンとの繋ぎ方です。内蔵タイプの音源を使用される場合は、次項の「MIDI 環境設定」へ読み進めて下さい。

<外部 MIDI 音源の接続方法>

例 1



例 2



外部 MIDI 音源を使用する場合は、MIDI インターフェースを経由してパソコンと接続する方法(例1)と、パソコンと直接 USB ケーブルで接続する方法(例2)の2種類があります。どちらの方法で接続するかは、お手持ちの MIDI 機器によって異なりますので、それぞれの機器に付属のマニュアルをご参照ください。

MIDI 環境設定

入力した楽譜を演奏するためには MIDI 環境設定をする必要があります。サウンドカードや MIDI 音源から音が出ない場合、また使用する MIDI デバイスを変更したいときは、「設定」メニューから「MIDI 入出力ポート設定」を選択し、出力用、入力用の MIDI デバイスを設定します。

Windows には標準で「Microsoft GS Wavetable Synth」または「Microsoft GS Wavetable SW Synth」という MIDI 音源が搭載されており、「はじめる！

MusicScore」では初期状態において、この MIDI 音源を使用してデータを演奏します。



MIDI インターフェースなどの MIDI 機器を増設した際には、入・出力ポートに応じた機器表示が追加されます。

基本用語の説明

「はじめる！ Music Score」で使われる基本的な用語を説明します。

「クリック」：

本書で「クリック」とは、マウスの左クリックのことを言う

「ドラッグ」：

マウスの左ボタンを押したままマウスを動かすという意味

「ショートカットキー」：

特定のマウス操作や機能を、そのキーを押すことで簡単に実行できるように割り当てられたキーボードキーのこと。いくつかのキーを組み合わせで押すこともある

「MIDI」：

Musical Instrument Digital Interface の略で、電子楽器間で音楽データを相互に伝送するための規格

「MIDI ファイル」：

演奏に関する MIDI データを保存する標準形式のファイル

「楽譜ファイル」：

編集した楽譜に関するデータ、演奏のための MIDI データを保存するファイル

「SML」：

「はじめる！ Music Score」では独自に開発した「SML」ファイルを利用している

「ページ」：

本書で「ページ」とは、1つのウィンドウに表示される1枚の楽譜のことを言う

「譜表」：

楽譜を構成する楽器編成の単位で、五線ともいう

「小節」：

小節線で分けられた曲の最小単位



「ブロック」：

本書で「ブロック」とは、譜表のまとまりを意味する。

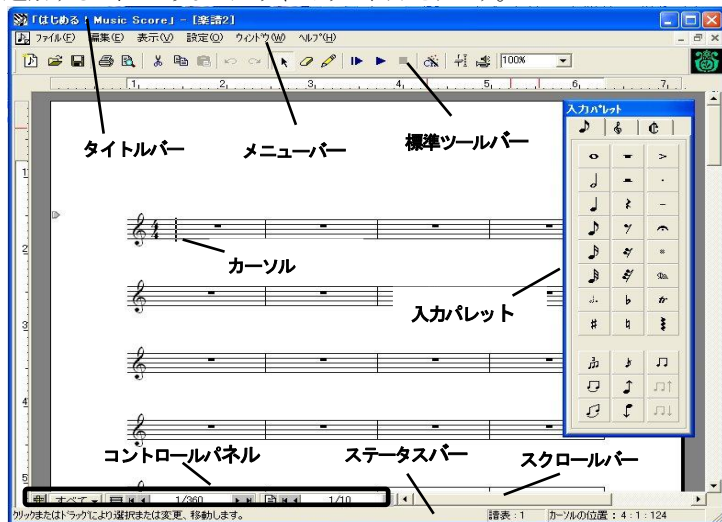
下図の譜例の場合、“譜表1～譜表2の2段”で“1ブロック”となる

また、1ページにブロックが4つあるので、「ページあたりのブロック数」は4となる

単一メロディ譜のように、譜表が1段の場合は、“譜表1の1段”で“1ブロック”となる

基本構成

起動すると下のようなメインウィンドウが表示されます。



「タイトルバー」: 楽譜のタイトルを表示

「メニューバー」: 「ファイル」「編集」などのメニューを表示 ⇒詳細 P.28

「標準ツールバー」: 「保存」「印刷」「消しゴム」など各種ツールを表示

⇒詳細 P.36

「入力パレット」: 音符や記号の入力・拍子や調号の設定を行う ⇒詳細 P.41

「カーソル」: カーソルがある位置から音符を入力できる。通常点滅している

「コントロールパネル」: ボイスの設定や小節数、ページ数の表示 ⇒詳細 P.58

「スクロールバー」: 垂直、水平スクロールバーがあり、楽譜画面を上下左右に移動させることができる


キーボードを使用している場合には[page up]、[page down]、[home]、[end]キーを使って画面を移動させることができる

「ステータスバー」: 選択したコマンドやファイルの説明を表示 ⇒詳細 P.57

■ 譜表と小節

起動時には、ト音記号が付いた1譜表の楽譜が表示されます。


➤ 譜表の位置調節


- ① 標準ツールバーの  ボタンをクリックしてマウスポインタを選択方式にします。
- ② 移動させたい楽譜の左端にマウスポインタを合わせると、マウスポインタが上下左右を向いた矢印の形になります。
- ③ その状態でドラッグすると楽譜の位置を変更できます。




 [Ctrl]キーを押しながらドラッグすると、ページ内の譜表を同時に変更します。

➤ 小節線の位置調節



- ① 標準ツールバーの  ボタンをクリックしてマウスポインタを選択方式にします。
- ② 移動させたい小節線にマウスポインタを合わせると、マウスポインタが左右を向いた矢印の形になります。この状態で左右にドラッグすると、小節の幅を変更できます。

 [Ctrl]キーを押しながらドラッグすると、ページ内で同位置のすべての小節線が移動します

➤ 小節単位の選択

標準ツールバーの  ボタンをクリック後、小節の空白部分をダブルクリックすると、その小節が選択されます。

➤ 譜表単位の選択

標準ツールバーの  ボタンをクリック後、譜表の左端にマウスポインタを置くとポインタの形が「」に変わります。

その状態でクリックすると、その譜表が選択されます。ダブルクリックすると、楽譜内のすべての譜表が選択されます。

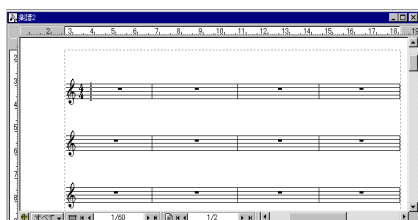
簡単な楽譜を作る

それでは、早速下記のような単一メロディ譜を作ってみましょう。





1. 新しいファイルを作る

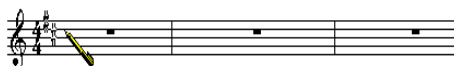
「始める！ Music Score」を起動して、1段譜のある新しい空白の楽譜を表示します。



2. 調号設定


譜表に調号を設定します。

- ① 入力パレットの「調号・拍子設定」タブ  をクリックして、「調号・拍子設定」パレットを表示します。
- ② 調号プレビューで  ボタンを2回押すと、マウスポインタが#2の形になります。
- ③ 譜表の1小節目でマウスをクリックします。すると調号が設定されます。



3. 拍子設定

4/4拍子を記号「C」に変更します。

- ① 「調号・拍子設定」パレットで拍子ボタン  を選択します。
- ② マウスポインタの形が「C」になります。
- ③ 調号設定と同様に、1小節目でマウスをクリックします。すると、拍子が記号「C」に変わります。




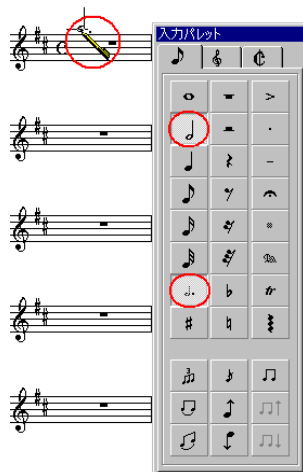
4. 音符入力と編集


次に、この譜表に音符を入力していきましょう。

<音符の各部分の名称>




- ① 入力パレットで「音符」タブ  を選択し、「音符」パレットを表示します。
- ② 「音符」パレットの2分音符を選択した後、「。」ボタンを選択するとマウスポインタが付点2分音符の形になります。
- ③ マウスポインタを上段の五線の1小節目に移動させ、A5(5オクターブ、ラ)の位置でクリックします。
- ④ 同じ要領で、「音符」パレットから楽譜に入力していきます。

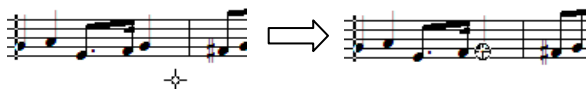


入力した音符の位置を変更する場合は、ツールバーの「選択」ボタンをクリックします。次に対象の音符にマウスポインタを合わせると形が  に変化します。この状態でマウスをクリックしたまま動かすことで、音程や位置を変えることができます。





音符を削除するには「消去」ボタンを選択し、対象となる音符の符頭にマウスポインタを合わせてクリックします。

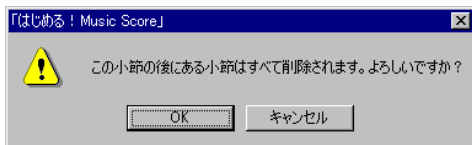
<符頭にポインタを合わせると形が  に変わります>



5. 終止線の設定

最後の小節に、曲の終わりを表す小節線、つまり終止線を設定します。


- ① 入力パレットのト音記号ボタン  を選択して、「設定・歌詞」パレットを表示します。
- ② 終止線ボタン  を選択した後、楽譜画面に移動して、終止線にする小節線上でクリックします。
 - このとき次のようなメッセージが表示されます。

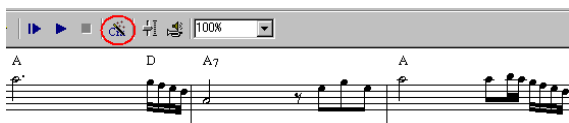


「OK」をクリックすると、クリックした小節から最終小節まで削除されながら楽譜は終わります。この後に小節を挿入しようとする場合には、小節線を普通小節線に変更すると小節が挿入されます。

6. 自動コードネームの入力




上のメロディにコードネームを自動で付けてみましょう。

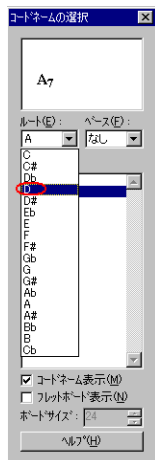
標準ツールバーの「コードネームの自動付け」ボタン  をクリックするとメロディにコードネームが自動的に付きます。



7. コードネームの入力

もし、自動付けしたコードネームがうまく合わない場合はコードネームを入力し直します。

- ① 標準ツールバーの「消去」ボタン  を選択し、マウスポインタを入力し直すコードネームに合わせてクリックします。
- ② 入力パレットで  タブを選択して「設定・歌詞」パレットを表示します。
- ③ 「コードネームの選択」ボタン  をクリックするか、「Ctrl+Alt+A」キーを押すと「コードネームの選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 上の楽譜の場合、まずルート音のリストボックスでルート音 D を選択します。
- ⑤ 譜表内のコードネームを付け直したい最初の音符 A5(オクターブ ラ)の符頭にマウスポインタを重ねてクリックします。

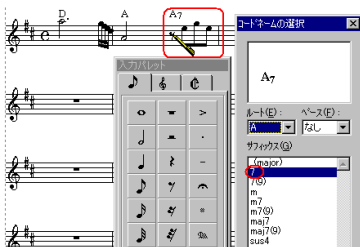


⚠ コードネームの入力時にマウスポインタを音符の符頭に合わせてクリックしていないと自動伴奏時に演奏が合わない場合があります。

- ⑥ 同じ要領で2つ目のコードを入力します。
「コードネームの選択」ウインドウで、ルート音 **A** を選択して2小節目の **A4**(ラ)の符頭にマウスポインタを重ねてクリックします。

- ⑦ 同じ要領で、3つ目のコードを入力します。

「コードネームの選択」ウインドウでルート音 **A** を選択し、サフィックスのリストボックスで選択した後、2小節目の休符にマウスポインタを合わせてクリックします。





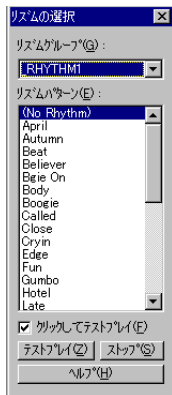
- ⑧ コードネームの縦の位置を変更するにはコードネーム位置変更ハンドルを上、下に移動します。



8. リズムを付ける

リズムを付けて、自動演奏の準備をします。

- ① 「設定・歌詞」パレットの「リズムの選択」ボタン  をクリックし、「リズムの選択」ウインドウを表示します。
- ② リズムパターンリストボックスで、リズムパターンの「Mother」をクリックすると、マウスポインタがリズム名に変わります。
- ③ リズムパターンを付けたいコードネームにマウスポインタを重ねてクリックすると、リズムパターンが譜表内に表示されます。
-  リズムパターンはコードネームにのみ属します。



もう一歩進んで

次に、下記のような楽譜を入力してみましょう。

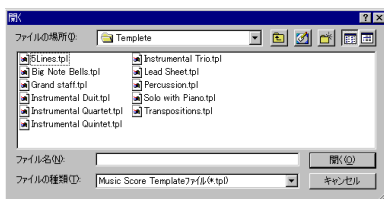
autumn



1. 楽譜の準備

「はじめる！ Music Score」ではあらかじめ用途別に設定された空白のテンプレート楽譜ファイルを利用します。テンプレート楽譜ファイルを選択する方法は、既に準備されている様式を利用する方法です。

「ファイル」メニューの「テンプレートから開く...」をクリックすると「開く」ダイアログが表示されます。



ファイル名リストから、「Grand Staff. tpl」を選択します。

そして「OK」ボタンをクリックすると新しい大譜表の楽譜が作成されます。



2. 音符

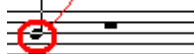
簡単な楽譜を作るの「音符入力と編集」を参考に、音符を入力してください。

➤ 和音の入力

和音になる音を、同じ位置の異なる音程の箇所をクリックして入力します。

またはツールバーの「選択」ボタンを


クリックするか、[F2]キーを押して矢印ポインタを選択した後 **Ctrl** キーを押しながらす



でに入力した音符を上へドラッグして置きます
すると、和音が入力されます。

3. 音符の連結

上の楽譜で2小節目の音符を譜例のようにタイで連結します。


「音符」パレットのタイボタンを選択し、タイでつなぎたい音符の符頭をクリックします。

または、つなぎたい音符をドラッグで囲み、マウスの右ボタンを押して、「タイ」を選択します



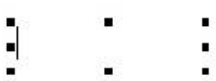
4. 強弱記号入力

「はじめる! Music Score」にはいろいろな強弱記号を入力するためのツールバーが用意されています。次は1楽譜目の1小節目に強弱記号を入力してみましょう。

- ① 「設定・歌詞」パレットで、 をクリックします。
- ② マウスポインタを、1楽譜目の1小節目の下でクリックします。クリックした場所に **ff** が挿入されます。

5. タイトルの挿入


楽譜のタイトルを入力してみましょう。同じ要領で、楽譜右上に作曲者名などを入れることもできます。

- ① 「設定・歌詞」パレットのテキストボタン **T** をクリックすると、マウスポインタが入力状態に変化します。
- ② タイトルを挿入したい場所でクリックすると、テキスト枠が浮き出ます。
- ③ 書式バーで、フォントの種類を「MSPゴシック」、フォントのサイズを「22」のように設定して、文字を入力します。

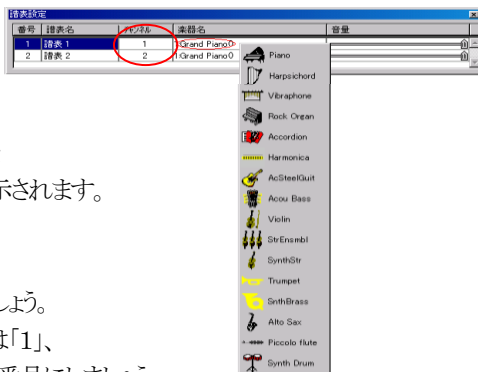


6. 楽器・チャンネルの設定

「譜表設定」ウィンドウで、譜表単位で楽器（音色）を設定します。

ツールバーで「譜表設定」ボタン  をクリックすると「譜表設定」ウィンドウが表示されます。

「楽器名」をクリックして、リストから使いたい楽器を選択して、演奏を楽しみましょう。次に、チャンネルを譜表1は「1」、譜表2は「2」のように異なる番号にしましょう。

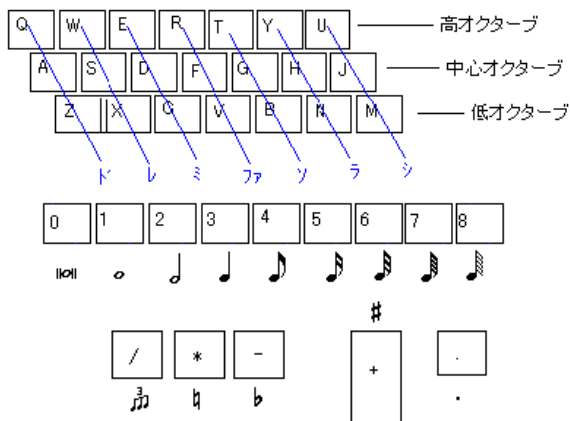



マウス以外の入力方法


1. コンピュータキーによる入力


音符のキーボード対応により、音符入力をコンピュータキーでも実現できます。

< 音符キー対応表 >



- ① ツールバーの「入力」ボタン  をクリックして入力状態にします。
- ② 数字キーで音符の種類を選択します。
(例:4分音符 … 数字キーの「3」)
- ③ 音程に対応した英字キーを押すと音符が記譜されます。
(例:G4(ソ) … 英字キーの「G」)

 入力ができない場合は、一度マウスを用いて記譜して、その後コンピュータキーをご利用ください。

 **数字キーや英字キー**を利用して入力する際は、日本語入力がオフになっていることを確認してください。

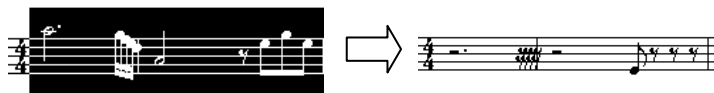
■コンピュータキーを用いた和音の入力

音符の長さに該当した数字キーを押し、和音になる音符の高さに該当した複数の英字キーを同時に押します。この時必ず音符の長さを一致させなくてはなりません。

■コンピュータキーを用いた休符の入力

音符を選択した状態で、[]キーを押すその音符の長さに該当する休符が入力されます。

また、いくつかの音符を同時に休符にするには、休符に変更しようとする音符をドラッグで囲んだ後、「[]」キーを押すと選択範囲にある音符は該当する長さの休符になり、逆に休符は音符になります。



2. MIDI キーボードによるステップ入力

MIDI キーボードを利用して、1つずつ音符を入力することもできます。リアルタイム録音するのではなく、ステップ入力方法で記譜していきますので、キーボードが弾けない方でも、ご利用いただける方法です。

MIDI キーボードで入力する手順は、コンピュータキーによる入力方法と同じで、「入力」ボタンを選択して入力状態にした後、数字キーを選択してから鍵盤を弾きます。

メニューバー

メニューバーには次の6つのメニューがあります。


 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)


1. ファイルメニュー

楽譜ファイルの作成、開く、保存、印刷などのコマンドをまとめたメニューです。

■新規作成...

新しい楽譜を作成します。

標準ツールバーの「新規作成」ボタン  をクリックしても同様にできます。

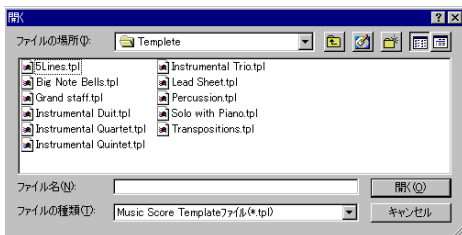
-  ページあたりのブロック数9、
譜表あたりの小節数4、
ブロックあたりの譜表数1、
ページ数10の楽譜が作成されます。

ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	設定(O)
新規作成(N)...			Ctrl+N
テンプレートから開く...			
開く(O)...			Ctrl+O
開じる(O)			
上書き保存(S)			Ctrl+S
名前を付けて保存(A)...			
楽譜情報(O)...			
プリンタの設定(P)...			
印刷プレビュー(V)			
印刷(P)...			Ctrl+P
最近使ったファイル			
終了(Q)			Alt+F4

■テンプレートから開く...

既存の楽譜テンプレートを開きます。開いたダイアログから任意の様式のテンプレートファイルを選択します。

はじめる!MusicScore では、このテンプレートの楽譜を使って、複数の譜表の楽譜を作ります。

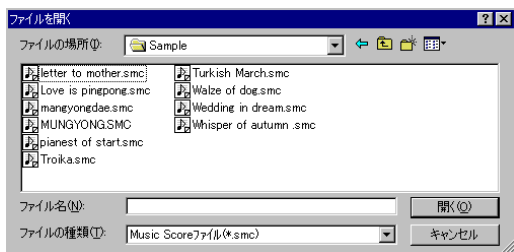


■開く...

既存の楽譜または楽譜テンプレートを開きます。

開いたダイアログから、楽譜ファイルがある場所とファイル名を指定します。

「はじめる！ Music Score」は複数の楽譜を同時に開くことができます。



➤ 読み込めるファイルの種類

「はじめる！ Music Score」楽譜ファイル(. SMC)

MIDIファイル(. MID)、Encore ファイル(. ENC)

➤ テンプレートファイル(. TPL)、MIDI ファイル、Encore ファイルの開き方

①「ファイルの場所(I)」を、該当ファイルの場所にします。

②「ファイルの種類(T)」を該当のファイルの種類に変えます。

③ 該当ファイルを選択します。

MIDIファイル、Encore ファイルを読み込むときにはそのファイルが「はじめる！ Music Score」の楽譜ファイルに変換されます。

また、Sample からサンプル音楽を開くことができます。

■閉じる

作成中の楽譜を閉じます。

更新された内容があれば、保存するかを問うメッセージが表示されるので、保存する場合は「はい」を、保存をせずに閉じる場合は「いいえ」を選択します。「キャンセル」をクリックすると楽譜画面に戻ります。

■上書き保存

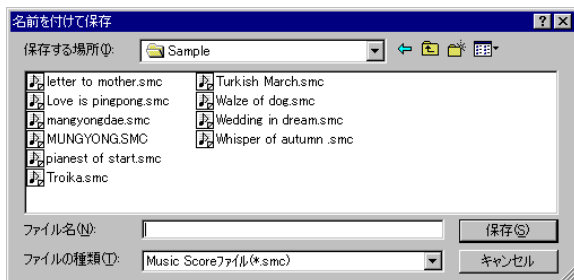
作成中の楽譜を保存します。

楽譜ファイルと同じ名前で上書き保存します。上書き保存しようとする楽譜ファイルがディスクに存在しない場合は、「名前を付けて保存」の実行と同じ動作となります。

■名前を付けて保存...

作成中の楽譜を別の名前で保存、または新しい楽譜を保存します。

開いたダイアログから、楽譜ファイルを保存する場所を指定し、楽譜の名前を入力します。



➤ MIDI ファイルに保存するには

「名前を付けて保存」ダイアログの「ファイルの種類(T)」で MIDI ファイル (*.mid) を選択します。

「保存」ボタンをクリックすると、MIDI ファイルに保存されます。

■楽譜情報

楽譜に関する情報を入力・表示します。タイトルや作詞・作曲、著作権、コメントなどを入力しておくことができます。

ここで入力された内容は楽譜画面には表示されません。

■プリンタの設定...

楽譜を印刷するプリンタに関する設定を行います。

使用するプリンタの選択や、給紙方法や用紙サイズの設定ができます。

■印刷プレビュー

画面で作成中の楽譜を印刷した時の状態にて確認できます。



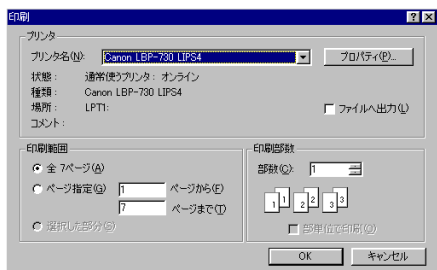
- 「印刷」: 「印刷」ダイアログが表示される
- 「次ページ」: 画面に表示されるページの次ページを表示する
画面に表示されるページが最終ページの場合にこのボタンはグレー表示になる
- 「前ページ」: 画面に表示されるページの前ページを表示する
画面に表示されるページが最初のページの場合にはこのボタンがグレー表示になる
- 「2ページ」: 画面に2ページずつ表示する
- 「拡大」: 画面に表示される楽譜を拡大する
- 「縮小」: 画面に表示される楽譜を縮小する

■印刷

作成中の楽譜を印刷します。

印刷設定項目は、使用するプリンタによって異なります。

また、印刷時、楽譜のページサイズはプリンタ用紙サイズに合わせて拡大/縮小されます。




「**プリンタの選択**」: 現在コンピュータに接続されているプリンタを設定する

「**すべて**」: 楽譜の全ページを印刷する

「**選択した部分**」: 選択した部分だけを印刷する

「**ページ指定**」: 開始ページと終了ページを指定して印刷する

 オプションについては、それぞれのプリンタに付属のマニュアルを参照してください。

■最近使ったファイル

最近開いた楽譜ファイルを新しい順に4つ表示します。


よく使うファイルがある際に、こちらから開くことができます。

- 1 北斗七星.smc
- 2 白い旋律.smc
- 3 星空のピアニスト.smc
- 4 舟歌.smc

■終了


「はじめる! Music Score」を終了します。

変更を保存していない楽譜ファイルがあれば、保存するかを問うメッセージが表示されるので、保存する場合は「はい」を、保存をせずに閉じる場合は「いいえ」を選択します。「キャンセル」をクリックすると楽譜画面に戻ります。

 「はい」を選択する際、既存ファイルの場合は現在のファイル名で楽譜を保存し、新しいファイルの場合は「名前を付けて保存」を行った後、ファイルを閉じます。

2. 編集メニュー

元に戻す、コピー、貼り付けなど楽譜ファイルを編集するうえで任意のコマンドをまとめたメニューです。

-  対象となる操作や音符がない場合にはグレー表示になります。

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し(R)	Ctrl+Y
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
クリア(D)	Del
ページ選択(M)	Ctrl+A

■元に戻す

直前の操作を復元します。

■やり直し

「元に戻す」を実行する前の状態に戻します。

■切り取り

選択範囲を切り取ってクリップボードに保存します。保存した内容は「貼り付け」で任意の場所に貼り付けることができます。

対象の音符などをドラッグしてから「切り取り」をクリックすると切り取ります。

■コピー

選択範囲をコピーします。

対象の音符などをドラッグしてから「コピー」をクリックするとコピーします。

■貼り付け

「切り取り」または「コピー」した内容を貼り付けます。

- 「Ctrl」キーを押しながら、選択した範囲を任意の位置にドラッグする方法でもできます。

■クリア

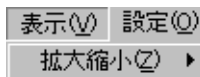
選択範囲を消去します。

■ページ選択

現在のページを全範囲選択します

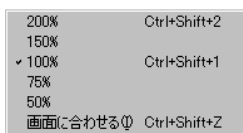
3. 表示メニュー

楽譜画面のサイズを設定するメニューです。



■拡大縮小

楽譜画面のサイズを50%、75%、100%150%、200%に表示、または「画面に合わせる」を選択すると画面に合わせて楽譜を表示します。



■標準に戻す

画面のレイアウトを起動時の状態に戻します。

4. 設定メニュー

■MIDI 出力ポート設定...

「はじめる！ MusicScore」で使用する MIDI 入出力ポートを設定するものです。



「出力ポート」: コンピュータにインストールされている MIDI 出力デバイスの中で、「はじめる Music Score」をプレイバックさせる時に使用するポートを選択する

- Windows には標準で「Microsoft GS Wavetable SW Synth」または「Microsoft GS Wavetable SW Synth」という MIDI 音源が搭載されています。
特に外部音源を使わない場合は、この MIDI 音源を選択しましょう。

「入力ポート」: MIDI 機器などから入力する時に使用するデバイスを選択する

⇒セットアップについては、P11の MIDI 機器のセットアップをご覧ください。

「OK」：「はじめる！MusicScore」は指定したポートを開きデバイスを確認する。選択されたデバイスは、「はじめる！MusicScore」が起動している間に他のアプリケーション利用できない

「キャンセル」：「はじめる！MusicScore」の MIDI ポートを変更せずにダイアログボックスを閉じる

5. ウィンドウメニュー

ウィンドウの表示方法を設定するメニューです。

■重ねて表示

現在開いている複数の楽譜を重ねて表示します。

■並べて表示

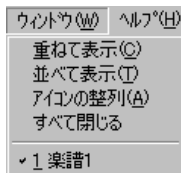
現在開いている複数の楽譜を上下に並べて表示します。

■アイコンの整列

最小化された楽譜ファイルのアイコンを画面下方に整列させます。

■すべて閉じる

開いている楽譜ファイルをすべて閉じます。



6. ヘルプメニュー

■目次

製品のヘルプが表示されます。

このメニューを利用して特定のヘルプトピックを参照することができます。または、ヘルプを検索するために「キーワード」タブを使用することができます。

■「はじめる！MUSIC SCORE」について

ユーザー名、更新日時、使用者のライセンス情報が表示されます。

■ホームページ

シルバースタージャパン Web ページを起動します。

標準ツールバー

「はじめる！ Music Score」では、標準ツールバーにファイル編集でよく使う機能ボタンとポインタボタン、演奏ボタン、補助ウィンドウボタンなどをまとめて配置してあります。



1. ファイル・編集ボタン

「ファイル」メニュー・「編集メニュー」の中から、よく使う機能をボタンにしています。



左から、

- ・「新規作成」
- ・「開く」
- ・「上書き保存（保存）」
- ・「印刷」
- ・「印刷プレビュー」
- ・「切り取り」
- ・「コピー」
- ・「貼り付け」
- ・「元に戻す」
- ・「やり直し」

の順に並んでいます。

⇒それぞれの機能の詳細は、P28 「メニューバー」から該当する箇所をご覧ください。

2. ポインタボタン

■「選択」ボタン

クリックするとポインタが選択方式に変わります。

選択方式にすることで、記号、譜表、音符などを選択したり、ドラッグして移動させることができます。



■「消去」ボタン

音符や記号の削除ができます。

クリックするとポインタが楽譜上で消去方式に変わるので、消したい記号にポインタを重ねてクリックします。

⚠この時、ポインタの形状が○に変わったことを確認してからクリックして下さい。

■「入力」ボタン

クリックすると、音符やタイトルの入力など、一つ前に行った入力操作と同じ入力ができます。

3. 演奏ボタン

作成した楽譜をプレイバックさせたり、ストップさせたりする際に使います。

■「始めから演奏」ボタン

現在編集集中の楽譜を最初から演奏します。

■「演奏」ボタン

カーソルが置かれている小節から演奏されます。

■「停止」ボタン

演奏を停止します。



4. 自動コード・補助ウィンドウボタン

「コードネームの自動付け」ボタンと、「プレイコントロール」「譜表設定」ウィンドウを開くためのボタンです。



■ 「コードネームの自動入力」 ボタン

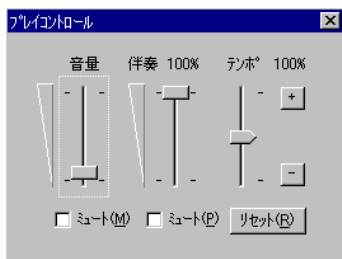
メロディ入力後にクリックすると、コードネームを自動的に入力します。

⇒入力されたコードネームを変更したい場合は、P.50 をご参照ください。

■ 「プレイコントロール」 ボタン

補助ウィンドウの「プレイコントロール」ウィンドウが開きます。

「プレイコントロールウィンドウ」は、演奏時の全体の音量、伴奏の音量、テンポを調節するウィンドウです。



「音量」：演奏する際の、全体の音量を調節する

「伴奏」：演奏する際の、伴奏音量を調節する

「テンポ」：演奏の速さを調節する

「+」：このボタンをクリックすると、テンポが早くなる

「-」：このボタンをクリックすると、テンポが遅くなる

「ミュート」：このボタンをチェックすると、音量がゼロになる

「リセット」：このボタンをクリックすると、テンポがリセットされる

■ 「譜表設定」 ボタン

補助ウィンドウの「譜表設定」ウィンドウが開きます。

「譜表設定ウィンドウ」では譜表ごとにMIDIチャンネル、使用する楽器や音量などを設定できます。



「番号」:

譜表の順序を表す。ここをマウスで上下にドラッグすると、譜表の順序を変えることができる

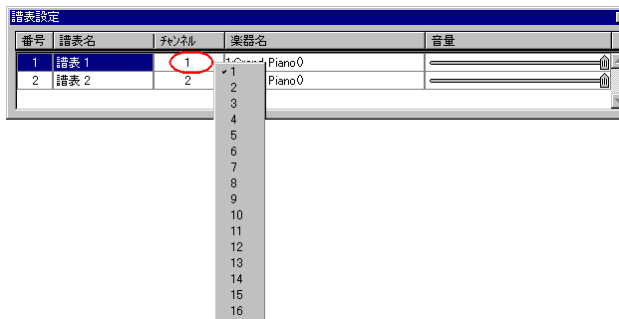
「譜表名」:

譜表の名前を入力する。ここをクリックして譜表の名前を入力すると、楽譜内の譜表にその名前が表記される

「チャンネル」:

譜表ごとに出力ポートの MIDI チャンネルを選択できる。

ここをマウスでクリックすると、チャンネルリストが表示される

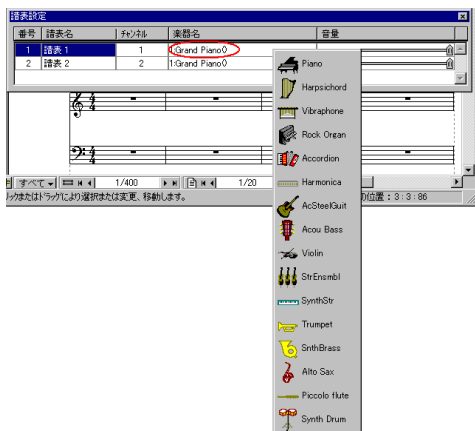


! 1つのチャンネルにつき、1つの音色を割り当てることができます。譜表ごとに異なる音色で演奏したい場合は、それぞれの譜表に個別のチャンネルを割り当てた上で、音色を変更してください。

「楽器名」:

譜表ごとに楽器を選択する。ここをマウスでクリックすると、楽器名リストが表示される。

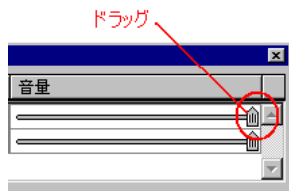
ここで使用したい楽器を選択する



「音量」:

この項目で、譜表ごとに再生時の音量を調節できる

- 再生中に音量を変更した場合、数秒後に変更が反映されます

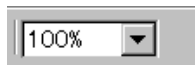


5. ズームポップアップメニュー

楽譜画面のサイズを選択できます。

楽譜画面の倍率を50%、75%、100%、

150%、200%、または画面に合わせて表示します。また、ズーム入力ボックスに数字をキーボードで入力することもできます。



入力パレット

ここには楽譜に音符や記号などを入力する各種ツールボタンが入っています。

上部のタブボタンをクリックすることで、

「音符」「設定・歌詞」「拍子・調号」のパレットを開くことができます。

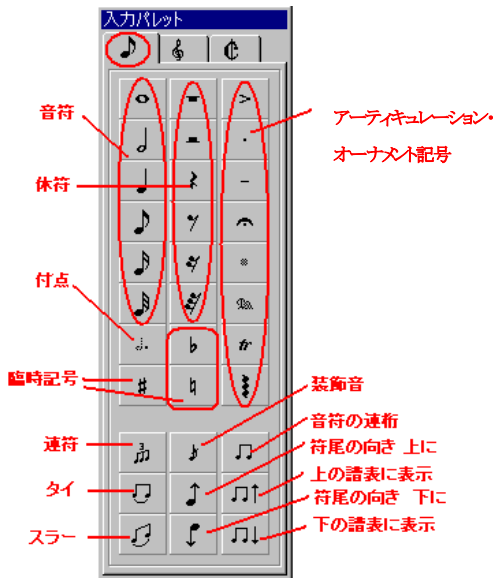
「はじめる！ Music Score」の起動時には、「音符」パレットが開きます。



タブ

1. 音符パレット

音符、休符、臨時記号、3連符、タイ、スラー、符尾の向き、などを楽譜に入力するためのツールが入っています。



■音符、休符ボタン

➤ 音符と休符の入力

任意の音符や休符をクリックし、五線上にポインタを移動させクリックします。

➤ 符点の入力

任意の音符・休符をクリックした後に符点をクリックして、五線上へ入力します。


■臨時記号、アーティキュレーション・オナメント記号ボタン

➤ 臨時記号、アーティキュレーション・オナメント記号の入力

① 任意の記号をクリックすると、マウスポインタは選択した臨時記号の形に変わります。

② マウスポインタを音符の符頭に重ねてクリックすると、臨時記号が入力されます。

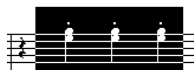


-  この時、ポインタの形状がペンマークに変わったことを確認してからクリックして下さい。それにより記号が演奏に正しく反映されます。（一部の記号は反映されません）

➤ いくつかの音符に同時に入力する

① 記号を入力しようとする音符をドラッグで囲みます。

② パレットで任意の記号をクリックすると、同時に音符記号が入力されます。



➤ アルペジオ記号を入力する

アルペジオ記号をクリックして、楽譜上で上から下にドラッグします。


➤ 音符の下に記号を入力する

任意の記号をクリックした後、キーボードのCtrlキーを押しながら、付けたい音符の符頭をクリックします。

■連符ボタン



「はじめる！ Music Score」では3連符のみ入力できます。

➤ 3連符の入力

- ① パレットで連符にしたい音符をクリックします。
- ② パレットの連符ボタン  を選択します。
- ③ 五線上へ3つの音を入力します。



■タイ、スラーボタン

➤ タイ、スラーの入力

- ① タイ・スラーを付けたい音符を入力します。
- ② パレットのタイボタン  ・スラーボタン  をクリックします。
- ③ つなぎたい音符の符頭をクリックします。
タイの場合は1つの符頭をクリックすればつながります。
スラーの場合は2つの符頭をクリックするとつながります。



■符尾の向きボタン

➤ 符尾の向きの変更

- ① 符尾の向きを変更したい音符をドラッグで囲みます。
- ② パレットの符尾の向きボタン   (上または下) をクリックします。


■装飾音ボタン

➤ 装飾音の入力



- ① 装飾音にしたい音符を入力します。
- ② ツールバーの  をクリックし、装飾音にしたい音符をドラッグで囲みます。
- ③ パレットの装飾音ボタン  を選択します。

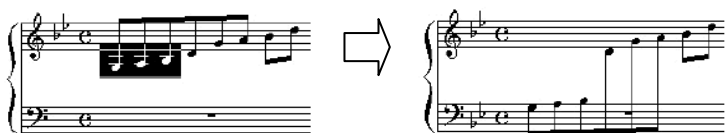
■上または下の譜表に表示ボタン

音符を、上下の譜表に割り当てる機能です。ピアノ譜などで譜表をまたがる音符を記譜する際に利用します。

-  テンプレート機能を使って、譜表が2段以上になっている場合に用いることができます。

➤ 音符を上または下の譜表に表示

- ① 移動させたい音符をドラッグで囲みます。
- ② パレットの「上の譜表に表示」ボタン  または「下の譜表に表示」ボタン  をクリックします。




■連桁ボタン

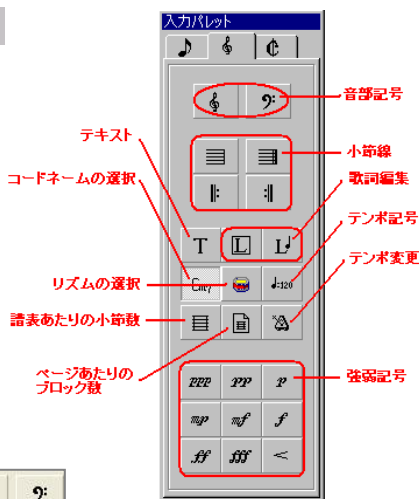
任意の音符を連桁にします。

➤ 連桁の入力

連桁にしたい音符をドラッグ選択して、連桁ボタンをクリックします。同じ操作で、連桁を解除することもできます。

2. 設定・歌詞パレット

入力パレットのト音記号タブ  をクリックすると、「設定・歌詞」パレットが表示されます。「設定・歌詞」パレットには音部記号、小節線、歌詞、テキスト、コードネーム、リズム、テンポ、強弱記号、奏法記号を設定、変更するためのボタンがあります。



■音部記号ボタン



音部記号を設定・変更することができます。

➤ 音部記号を変更するには

- ① パレットの任意の音部記号をクリックします。
- ② マウスポインタを楽譜の最初の音部記号に重ねてクリックします。

➤ 譜表の途中で音部記号を変更する場合

- ① パレットの任意の音部記号をクリックします。
- ② 任意の位置にマウスポインタを置いてクリックします。

■小節線と繰り返し記号ボタン



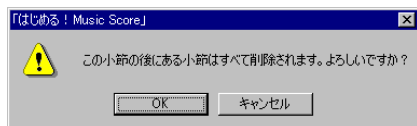
「はじめる！ MusicScore」では、縦線・終止線2つの小節線と、繰り返し記号が入力できます。


➤ 小節線・繰り返し記号の入力


- ① パレットから任意の小節線ボタンをクリックします。
- ② マウスポインタを、変更したい小節線上に置いてクリックします。

➤ 終止線ボタン と小節の追加について

終止線ボタンをクリックし小節線上に置くと、次のようなメッセージが出ます。




- ① 「OK」をクリックするとクリックした小節から最終小節まで削除されます。
- ② 縦線ボタン  選択した後、最終小節でマウスをクリックすると最終小節線は縦線になり、小節が追加されます。

 「はじめる！ MusicScore」では、もともと多数の小節が入力されているので(最大360小節)、そこから不要な部分を上記のようにカットや追加する方法で小節数を設定します。また、この時に総小節数は360を超えることができません。

■テキストボタン

➤ 文字の入力

- ① テキストボタンをクリックします。
- ② 文字を入力したい場所をクリックすると、 入力枠が表示されます。
- ③ 点滅カーソルの位置から文字が入力できます。
- ④ 次の操作(音符の入力など)に移れば、文字の入力は自動的に終わります。

➤ 書式バー



入力枠が表示された時点で、書式を設定する書式バーが追加されます。ここで、フォントの種類やサイズなどを設定できます。

⇒詳細はP.56 をご参照ください。


➤ 一度入力した文字を編集したい場合

テキストボタンをクリック後、編集し直したい文字の上でクリックをすると、入力枠が浮き出ます。

文字をドラッグで囲んで、書式バーで設定を変えることもできます。

■歌詞編集ボタン（1）

「はじめる！ Music Score」では、各節ごとに歌詞を入力・編集します。
また、編集した歌詞のフォント、サイズ、スタイルを設定できます。

-  音符に歌詞を貼り付けていくので、音符が入力されていないと歌詞の入力はできません。

 ボタンをクリックすると「歌詞の編集」ダイアログが表示されます。



「譜表」： 編集したい譜表を選択する


「フォント名」： 歌詞のフォント名を設定する


「サイズ」： 歌詞のフォントサイズを設定する

「スタイル」： 歌詞フォントのスタイルを設定する


「1節-8節」： 1節～8節までのタブボタンで、歌詞を入力したい節を選択する

➤ 歌詞の入力（1）


- ① 歌詞をつける音符を入力します。
- ②  をクリックして「歌詞の編集」ダイアログを開きます。
- ③ 歌詞をつける音符が入力されている譜表を選択し、フォントやサイズを設定します。
- ④ 節のタブを選んで、歌詞を入力します。
- ⑤ 1つの音符につける文字と、その次の音符につける文字の間で「Space」キーを押します。

-  休符も音符と同じく歌詞の対象となります。歌詞がずれないために、文字が不要な休符部分にはスペースを入れてください。

■ 歌詞編集ボタン (2)

 ボタンを利用すると、歌詞の位置を決められます。また、歌詞を入力・編集することもできます。

➤ 歌詞の入力方法 (2)


- ① 歌詞をつける音符を入力します。
- ② 歌詞を入力したい音符がある小節にカーソルを置き  をクリックすると音符の下でカーソルが点滅します。



- ③ 1つの音符に付ける歌詞を入力し確定後、[Enter]キーを押すと、カーソルは次の音符に移動します。



➤ 途中の音符から歌詞を入力

 をクリック後、歌詞を付けたい音符の符頭をクリックすると、その音符から歌詞が入力できます。

➤ 2節以降の歌詞の入力、位置の調節

2節の歌詞を入力するには、譜表の左の薄いグレーのハンドルを1節ハンドルの下にドラッグします。

この動作を繰り返して最大8つまで歌詞のハンドルを表示できます。

また、ハンドルを上下に移動して各節の歌詞位置を調節できます。



➤ 歌詞の一括削除

ある節の歌詞を一括削除するには、その節の歌詞ハンドルを譜表の上までドラッグします。すると次のようなメッセージが表示されます。




「はい」をクリックすると、その節の歌詞は削除されます。

■テンポ記号ボタン

テンポや速度記号を設定できます。

➤ テンポ記号の入力

- ①  ボタンをクリックし、楽譜上のテンポ記号を表示させたい場所をクリックすると、「テンポ設定」ダイアログが表示されます。
- ② 表示させるテンポ記号の種類、フォントなどを設定して「OK」をクリックすると、テンポ記号が表示されます。



「プレイバック」：1 分間に何拍の速さで再生するかを指定する

「テンポテキスト」：速度記号を選択する。表示する場合は、ここにチェックを入れリストからテキストを選ぶ。テキストフォントボタンからフォントの設定ができる

「メトロノーム」：テンポの表示形式を選択する。

メトロノーム記号を表示する場合は、ここにチェックを入れ表示する音符や数値、カッコを設定する。

メトロノームフォントボタンからフォントの設定ができる

■コードネームの選択ウィンドウ

コードネームボタン **Cm7** をクリックすると、コードネーム選択ウィンドウが開き、コードネームの入力ができます。

コードネームは、音符または小節に所属します。

「コードネーム表示窓」:コードネームのプレビュー画面

「ルート」:コードネームのルート音を指定する

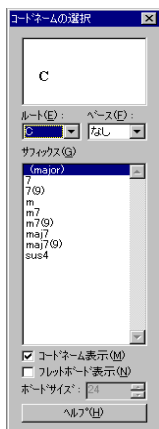
「ベース」:コードネームのベース音を指定する

「サフィックス」:サフィックスの種類を指定する

「コードネーム表示」:フレットボードが表示された時に、コードネームの表示、非表示を選択する


「フレットボード表示」:フレットボードの表示、非表示を選択する

「ボードサイズ」:フレットボードの大きさを指定する




➤ コードネームの入力

- ① コードネームボタン **Cm7** をクリックし、コードネームの「選択」ウィンドウが表示します。
- ② ルートのリストボックスで任意のルート音を選択します。
- ③ ベースのリストボックスでベース音を、あるいは「なし」を選択します。
- ④ サフィックスのリストボックスでサフィックスを選択します。
- ⑤ コードを付けたい音符の符頭、または小節をマウスでクリックするとコードネームが入力されます。

 音符の譜頭でなくてもコードネームは入力できますが、自動演奏をしたい場合は正しい演奏のため符頭に入力してください。

■ リズムボタン

リズムボタン  をクリックすると、「リズムの選択」ウィンドウが開き、リズムパターンの選択ができます。リズムはコードネームによる自動伴奏を行うためのパターンです。

「はじめる！ Music Score」ではリズムパターンをグループ別にまとめて取り扱っています。

1つのリズムパターンが複数のグループに含まれる場合もあります。

「リズムグループ」：リズムグループを選択する


「リズムパターン」：リズムパターンを選択する


「クリックしてテストプレイ」：ここにチェックを入れると、リズムパターンを選択する度にそのリズムの1フレームを演奏する

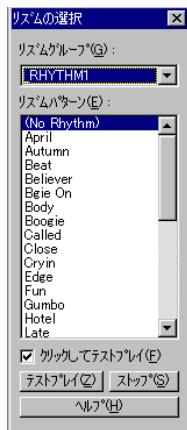
「テストプレイ」：このボタンをクリックすると、選択されたリズムパターンの1フレームを演奏する

「ストップ」：リズムのテストプレイを中止する

➤ リズムの入力

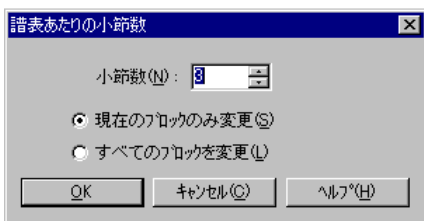
- ④ 「リズムの選択」ボタン  をクリックし「リズムの選択」ウィンドウを表示します。
- ⑤ リズムグループのリストボックスでリズムグループを選択します。
- ⑥ リズムパターンのリストボックスでリズムパターンをクリックすると、マウスポインタがリズム名に変わります。
- ⑦ リズムパターンを付けたいコードネームにマウスポインタを重ねてクリックすると、リズムパターンが譜表内に表示されます。

 リズムパターンはコードネームにのみ属します。



■ 譜表あたりの小節数設定ボタン

「譜表あたりの小節数設定」ボタン  をクリックすると「譜表あたりの小節数」ダイアログが表示されます。



「小節数」： 譜表あたりの小節数を設定する




「現在のブロックのみ変更」： この項目をクリックすると、カーソルの置かれたブロックの小節数だけを変更する

「すべてのブロックを変更」： この項目をクリックすると、すべてのブロックの小節数を変更する

「OK」： このボタンをクリックすると、設定を実行する


「キャンセル」： このボタンをクリックすると、ブロックの小節数を変更せずもとの楽譜に戻る

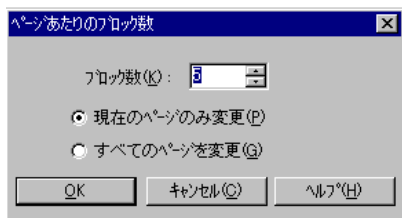
➤ 譜表あたりの小節数の設定

- ① 小節数を変更したいブロックにカーソルを置きます。
 -  すべてのブロックの小節数を変更する場合は、どこに置いてもよいです。
- ②  ボタンをクリックし、「譜表あたりの小節数」ダイアログを開きます。
- ③ 任意の小節数を入力し、「現在のブロックのみ変更」するか、「すべてのブロックを変更」させるかを選択し、チェックを入れて「OK」をクリックします。
 -  この時、小節の総数は変わらないので、総小節数によって最後のブロックのレイアウトが決まります。

⇒ 譜表やブロックの意味については、P14をご参照ください。

■ ページあたりのブロック数設定ボタン

入力パレットで「ページあたりのブロック数設定」ボタン  を選択すると、「ページあたりのブロック数」ダイアログが表示されます。



「**ブロック数**」： ページあたりのブロック数を設定する

「**現在のページのみ変更**」： この項目をクリックすると、カーソルの置かれたページのブロック数だけを変更する


「**すべてのページを変更**」： この項目をクリックすると、すべてのページのブロック数を変更する


「**OK**」： このボタンをクリックすると、設定を実行する

「**キャンセル**」： このボタンをクリックすると、ページのブロック数を変更せずもとの楽譜に戻る


➤ ページあたりのブロック数の設定


④ ブロック数を変更したいページにカーソルを置きます。

 すべてのページの小節数を変更する場合は、どこに置いてもよいです。


⑤  ボタンをクリックし、「ページあたりのブロック数」ダイアログを開きます。

⑥ 任意のブロック数を入力し、「現在のページのみ変更」するか、「すべてのページを変更」させるかを選択し、チェックを入れて「OK」をクリックします。

 1ページに入りきれないブロックがはみ出る場合があります。その場合は、1ページに入るブロック数に設定し直してください。

 小節の総数は変わらないので、総小節数によって最後のブロックのレイアウトが変わります。

■テンポ変更ボタン

入力パレットで「テンポを変更」ボタン  をクリックすると、「テンポ変更」ダイアログが表示されます。



「すべての値を設定」: 選択範囲内のテンポの値を一律に設定する


「徐々に変更」: 小節単位で徐々に速くまたはゆっくり演奏する場合に利用する

「元の値の〇%に設定」: 既にテンポ値を設定した範囲を全般的に速くまたはゆっくり演奏したい場合に利用する

「すべての値に加える」: すべてのテンポ値を変更する場合に利用する

「小節範囲」: 変更する小節範囲を決める

➤ テンポの変更


- ①  ボタンをクリックし、「テンポ変更」ダイアログを開きます。
- ② 任意の変更方法にチェックを入れ、数値を入力します。
- ③ テンポの変更を反映させる小節範囲を設定します。
- ④ 「OK」をクリックします。

■強弱記号ボタン


➤ 強弱記号の入力

ツールバーから強弱記号をクリックし、楽譜上の任意の場所でマウスポインタをクリックすると入力されます。

➤ クレッシェンド・デクレッシェンドの入力

- ①  ボタンをクリックし、楽譜上の任意の場所に一度マウスポインタをクリックします。
- ② 右にドラッグするとクレッシェンドが、左にドラッグするとデクレッシェンドが入力されます。

3. 拍子・調号パレット

入力パレットの  タブをクリックすると「拍子・調号パレット」が表示されます。

「拍子・調号パレット」では、拍子や調号の設定ができます。

➤ 調号の変更

- ① 入力パレットの垂直スクロールバーを上下にドラッグして、任意の調号に設定します。
- ② マウスポインタが設定した調号の形に変わるので、楽譜上の任意の位置でマウスをクリックすると調号が変更されます。



調号変更
スクロールバー

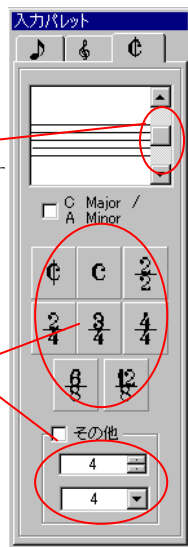
➤ 拍子の変更

- ① 入力パレットで任意の拍子ボタンをクリックします。
- ② マウスポインタは選択した拍子ボタンの形に表示が変わるので、楽譜上の任意の位置でマウスをクリックすると拍子が変わります。

拍子ボタン
その他の拍子

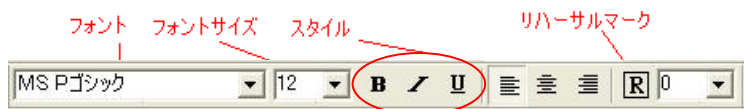
➤ その他の拍子の設定

- ① 入力パレットで「その他」にチェックを入れ、  ボタンを利用して任意の拍子数を設定します。
- ② マウスポインタが選択した拍子ボタンの形に変わるので、楽譜上の任意の位置でマウスをクリックすると拍子が変わります。



書式バー

書式バーはテキストを入力する際、「設定・歌詞」入力パレットにあるテキストボタン **T** を選択して、楽譜上の任意の場所にポインタを置きクリックするまではグレー表示されています。



書式バーは左から

- ・フォント
- ・フォントサイズ
- ・太字、斜体、下線
- ・左揃え、中央揃え、右揃え
- ・リハーサルマーク
- ・行間の間隔

の順に並んでいて、それぞれの設定ができます。

➤ リハーサルマーク

このボタンをクリックすると、テキストに四角い枠をつけます。

枠を消す場合は、テキストボタンをクリック後、編集し直したい文字の上でクリックをすると入力枠が浮き出るので、その状態でもう一度ボタンをクリックしてください。

➤ 一度入力した文字を編集したい場合

テキストボタンをクリック後、編集し直したい文字の上でクリックをすると、入力枠が浮き出ます。

文字をドラッグで囲んで、書式バーで設定を変えることもできます。

ステータスバー

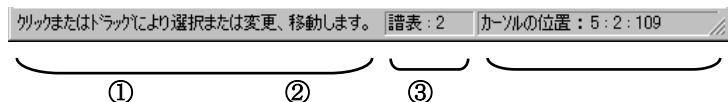
ステータスバーの各項目には次のような内容を表示します。



■ 音符入力状態での表示

- ① メニュー、ツール、編集操作についての説明を表示します。
- ② 現在マウスカーソルが置かれている譜表の番号を表示します。
- ③ 現在マウスカーソルが置かれている小節の位置を表示します。(小節番号:拍子:ティック, ピッチ)
- ④ キーボードによる高速入力時のオクターブを表示します。

■ 音符入力状態でない場合の表示



- ① メニュー、ツール、編集操作についての説明を表示します。
- ② 現在マウスカーソルの置かれた譜表の番号を表示します。
- ③ 現在マウスカーソルの置かれた小節の位置を表示します。(小節番号:拍子:ティック)

コントロールパネル

コントロールパネルには、ボイス設定コマンドや、小節・ページカウンターなどが配置されています。

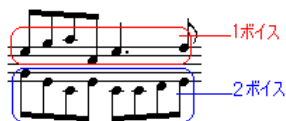


■ルーラー表示／非表示

左端にあるこのボタンをクリックすると、楽譜の位置などを調節するための目盛り(ルーラー)の表示／非表示と単位の設定ができます。

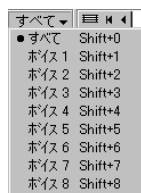
■ボイス設定


右図のように、ひとつの楽譜に最大8つまでのボイス(声部)を記譜できます。



➤ 複数のボイス(声部)の入力

- ① 「ボイス設定」ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。
- ② 「ボイス1」をクリックします。コントロールパネルの表示が「ボイス1」に切り替わります。
- ③ 1つ目の声部の音符を入力します。
- ④ 「ボイス設定」ボタンをクリックして、「ボイス2」に切り替えます。この時「ボイス1」で入力した音符は、グレー表示になります。



 グレー表示の音符は、通常の黒表示に戻るまで一切編集ができません。

- ⑤ 2つ目の声部の音符を入力します。
- ⑥ 声部ごとの入力が終わったら、「ボイス設定」ボタンを「すべて」に切り替えると、すべての声部が表示されます。

ボイスはそれぞれ下図のように設定されていて、各ボイスを組み合わせることで多声の楽譜の記譜ができます。

ボイス	符尾の向き	音符の表示	休符の表示
1	自動	○	○
2	上	○	○
3	下	○	○
4	自動	○	○
5	上	○	○
6	下	○	×
7	自動	×	×
8	上	○	○

「符尾の向き」:音符を入力した時、符尾の向きはこの設定通りに記譜される。「自動」のものは、第3線を境に自動で上下に分けられる

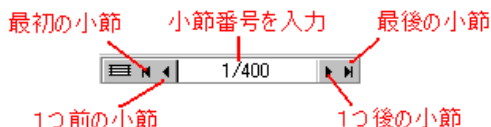
「音符の表示」:「ボイス設定」を「すべて」にした時、音符はこの設定通りに表示/非表示になる

「休符の表示」:「ボイス設定」を「すべて」にした時、休符はこの設定通りに表示/非表示になる

■小節カウンター

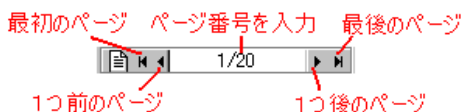
矢印ボタンをクリックして、カーソルを最初の小節、1つ前の小節、1つ後の小節、最後の小節に移動できます。

または小節番号フィールドをクリックして、移動したい小節番号を入力した後、[Enter]キーを押すと指定された小節に移動します。



■ページカウンター

矢印ボタンをクリックして、カーソルを最初のページ、前のページ、後のページ、最後のページに移動できます。またはページ番号フィールドをクリックして移動したいページ番号を入力した後、[Enter]キーを押すと指定されたページに移動します。




右ボタンメニュー

1. 範囲を選択しない状態での右ボタンメニュー


楽譜画面で、マウスの右ボタンをクリックすると右ボタンメニューが表示されます。



■選択

このメニューをクリックすると、ポインタが選択方式に変わり、記号・譜表・音符などを選択したり、ドラッグして移動させることができます。(ツールバーの  ボタンをクリックした時と同じ状態)

■消去

このメニューをクリックすると、ポインタが消去方式に変わり、記号をクリックして削除できます。(ツールバーの  ボタンをクリックした時と同じ状態)

■入力

このメニューをクリックすると、ポインタが選択した入力ツールの形に変わります。音符、記号を入力する際に使用します。

■貼り付け

このメニューは、事前のコピー操作などにより貼り付けるものがある場合、文字が表示されます。

貼りつける位置にカーソルを置いて、このメニューをクリックするとクリップボードの内容をカーソルのある位置に貼り付けます。

■描き直し

編集中に音符や記号がきちんと表示されない場合に、このメニューをクリックすると、入力された状態の楽譜に再描画します。

2. 範囲を選択した状態での右ボタンメニュー

音符や記号などを、ドラッグして黒く囲むように選択し、その位置でマウス右ボタンを押すと、右ボタンメニューが表示されます。


符尾の向き(A)	
タイ(T)	Ctrl+T
スラー(S)	Ctrl+L
連符(B)	
和音に変換(H)	Ctrl+Alt+C
装飾音に変換(G)	Ctrl+Alt+G
切り取り(Z)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(V)	Ctrl+V
クリア(D)	Del

■符尾の向き

このメニューをクリックすると右のようなサブメニューが表示され、選択した音符の符尾の向きを変更できます。

上へ(U)	Ctrl+U
下へ(D)	Ctrl+D
標準(A)	


➤ 符尾の向きの変更



- ①  ボタンを押して、符尾の向きを変更したい音符を範囲選択します。
- ② 選択した位置で右ボタンを押すと、右ボタンメニューが表示されます。
- ③ 「符尾の向き」メニューのサブメニューから、上へ、下へ、標準の内1つを選択すると、選択した音符の符尾の向きを変更します。

■タイ

選択した範囲内で、同じ音程の2つ以上の音符をタイで結びます。

➤ 音符をタイで結ぶには


- ①  ボタンを押して、タイで結びたい音符を範囲選択します。
- ② 選択した位置で右ボタンを押すと、右ボタンメニューが表示されます。
- ③ 「タイ」メニューをクリックすると、選択した音符の内、タイで結ぶことのできるすべての音符をタイで結びます。



 **譜表の段をまたいでタイを付ける場合は、この方法ではできません。入力パレットのタイボタン  をクリックしてから、タイでつながりたい最初の音符の符頭をクリックしてください。**

■スラー

選択した範囲の音符をスラーで結びます。

➤ 音符をスラーで結ぶには

- ①  ボタンを押して、スラーで結びたい音符を範囲選択します。
- ② 選択した位置で右ボタンを押すと、右ボタンメニューが表示されます。
- ③ 「スラー」メニューをクリックすると、選択した範囲の音符をスラーで結びます。

 **譜表の段をまたいでスラーを付ける場合は、この方法ではできません。** 入力パレットのスラーボタン  をクリックしてから、スラーでつなぎたい音符の符頭をそれぞれクリックしてください。

■連桁

このメニューを選ぶと、右のようなサブメニューが表示されます。

解除(Q)	Ctrl+Q
グループ(G)	Ctrl+G
拍子通り(B)	Ctrl+B
サブグループ(S)	Ctrl+M

「解除」:

選択した範囲の音符の連桁をはずし、個別の音符にする

「グループ」:

選択した範囲の音符を連桁にする


「拍子通りに」:

選択した範囲の音符を小節の拍子通りに連桁にする

「サブグループ」:

連桁で結ばれた音符を部分的にもう一度連桁で結ぶ


➤ 音符を連桁にするには

- ①  ボタンを押して、連桁にしたい音符を範囲選択します。
- ② 選択した位置で右ボタンを押すと右ボタンメニューが表示されます。
- ③ 「連桁」メニューのサブメニューから任意の項目を選択します。

■和音に変換

選択した複数の単音符を1つの和音に変換します。

➤ 和音に変換するには

- ①  ボタンを押して、和音に変換したい複数の単音符を選範囲押しします。
- ② 選択した位置で右ボタンを押すと右ボタンメニューが表示されます。
- ③ 「和音に変換」メニューをクリックします。

■装飾音に変換

選択した音符を装飾音に変換します。

➤ 装飾音に変換するには

- ① 「選択」ボタンを押して装飾音に変換したい音符を選択します。
- ② 選択した位置で右ボタンを押すと右ボタンメニューが表示されます。ここで「装飾音に変換」コマンドを選びます。

■切り取り


選択範囲を切り取ります。その後、「貼り付け」操作をすることができます。

■コピー

選択した範囲をコピーします。

■貼り付け



コピーや切り取りした内容を貼りつけます。

 拍子、調号、音部記号など一部の記号は挿入されません。

■クリア

選択範囲の内容を削除します。

クリアされた内容はクリップボードに保存されないので「元に戻す」は可能ですが、貼り付けは出来ません。

 **音部記号を削除する場合は、 ボタンを利用してください。選択して削除することはできません。**

付記

■ショートカットキー対応表

ファイルメニュー

新規作成	Ctrl+N
開く	Ctrl+O
上書き保存	Ctrl+S
印刷	Ctrl+P
終了	Alt+F4

編集メニュー

元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+Y
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
クリア	Del
ページ選択	Ctrl+A

表示・音符メニュー

標準ツールバー	Shift+F9	
コードネームの選択	Ctrl+Alt+A	
リズムの選択	Ctrl+Alt+S	
書式バー	Ctrl+F10	
譜表設定	Shift+F6	
プレイコントロール	Ctrl+Shift+Enter	
描き直し	Ctrl+R	
拡大縮小	200%	Ctrl+Shift+2
	100%	Ctrl+Shift+1
	画面に合わせる	Ctrl+Shift+Z

符尾の向き	上へ	Ctrl+U
	下へ	Ctrl+D
ボイス移動	ボイス1～8へ	Ctrl+1～8
タイ	Ctrl+T	
スラー	Ctrl+L	
連桁	解除	Ctrl+Q
	グループ	Ctrl+G
	拍子通りに	Ctrl+B
	8分サブグループ	Ctrl+M
和音に変換	Ctrl+Alt+C	
装飾音に変換	短前打音に変換	Ctrl+Alt+G
微調整	上へ	Ctrl+ ↑
	下へ	Ctrl+ ↓
	左へ	Ctrl+←
	右へ	Ctrl+→

演奏

始めから演奏	Ctrl+Space
演奏	Space
停止	Space

マウスポインタ

選択	F2
消去	Shift+F2
入力	Ctrl+F2

その他

ウィンドウ切り替え	Ctrl+タブ
テンポ記号	Ctrl+Alt+R

ヘルプ

目次	F1
「はじめる！ MusicScore」について	Alt+F1

■キーボードとマウスを同時に利用した機能

● Ctrl キーを押しながら…

- ・音符をドラッグ →

音符をコピーできます。

- ・ブロックのハンドルをドラッグ →

それより下のブロックをまとめて移動できます。

- ・譜表のハンドルをドラッグ →

それより下のブロックで、同じ譜表をまとめて移動できます。

- ・小節線を移動する →

すべてブロックの小節線を同時に移動できます。

- ・選択範囲をドラッグ →

選択範囲をコピーします。

- ・歌詞ハンドルを上下にドラッグ →

すべて譜表の歌詞が同時に上下に移動できます。

● Shift キーを押しながら範囲選択 →

- ・複数の範囲を同時に選択できます。

● Alt キーを押しながら…

- ・記号(アルペジオ、強弱記号、テキストのみ)をドラッグ →

記号をコピーできます。

これらの操作を実行する際には「選択ツール」を選んでください。

「はじめる！ MUSIC SCORE」と「MUSIC SCORE2.2」

上位版に「Music Score2.2」があり、「はじめる！ MusicScore」と同じ要領で、さらに高度な楽譜作成が可能です。

「はじめる！ Music Score」で編集したファイルは、Music Score 2.2 で読み込み、編集ができます。

機 能	Music Score2.2	「はじめる！ Music Score」
オーケストラの作成	○	テンプレート機能を利用
パート譜作成	○	×
自動コードネーム付け	×	○
タイ/スラーの初期位置 など楽譜の詳しい設定	○	×
音符入力時 自動間隔調整	チェックによつて	常に(メニューにはない)
アーティキュレーション、 オーナメント入力	○	一部入力可能
エンディング入力	○	×
繰り返し記号入力	○	×
8va、8vb 入力	○	×
任意連符を入力	○	3連符のみ
任意の音部記号を設定	○	高音部、低音部記号のみ
混合拍子設定	○	×
拍子、調号表示/非表示	○	×
譜表設定ウィンドウで設定する楽器数	128	16

第 6 部 製品のサポートについて

●ユーザー登録のお願い

同梱されているユーザー登録ハガキに必要事項を記入の上、ご返送下さい。ハガキを返送いただけないとサポートを受けることができない場合がございますので、ご注意ください。

●保証について

お買い上げいただいたレシートは大切に保管してください。保証期間は、お買い上日から1ヶ月間となります。この期間に、マニュアルに従い正常に使用し、CD-ROMが製造上の不良により故障した場合には、無償で新品とお取り替えいたします。

●交換方法

故障したCD-ROMとお買い上げレシートと不具合状況をご記入のうえ、サポートセンターまでお送り下さい。

なお、本ソフトの使用により生じたいかなる事項に対しても、当社は上記以外の責任を一切負いかねますのでご了承下さい。

●バージョンアップについて

最新バージョンアップや不具合があった場合はホームページ上にて、アップデートファイルを公開いたします。

●お使いになってご不便を感じられる点や欲しい機能等を、ぜひお知らせください。今後の製品開発の参考にさせていただきます。

◆MusicScore シリーズのユーザーサポートは、株式会社ミュージックスターにて承ります。

●サポートセンター

〒503-0807

岐阜県大垣市今宿6丁目 52-16 ソフトピアジャパン・ドリームコア 211 号室
株式会社ミュージックスター 「はじめる! MusicScore」サポート係

TEL: 0584-77-6107(平日 13:00-17:30)

FAX: 0584-77-6108

電子メール: support@musicstar.co.jp

ホームページ: <http://www.musicstar.co.jp/>

土曜、日曜、祝日、年末年始などはお休みをいただきます。なお、電話によるお問い合わせは混み合うことが予想されますので、なるべくファックスもしくは電子メールでお問い合わせ願います。

●お問い合わせの際には、以下の事項をお聞きしますのでお調べください。

(FAX,E-Mail の場合は記載してください)

- ・商品名 (はじめる! MusicScore Vista 対応版)
- ・Windows のバージョン (Windows2000/XP/Vista)
- ・パソコンのメーカー、機種 (型番)
- ・具体的な症状 (エラーメッセージが出ればその内容)

- ・Windows の操作方法、マシンの設定 (パソコン、ルータ等)、音楽制作自体に関するご質問にはお答え致しかねますので、予めご了承ください。

- ・ご質問の内容によってはお時間をいただく場合がございます。

- ・場合によっては保存した楽譜を送っていただく場合がございますので予めご了承ください